

# 葛西に牛耳られた会社・反動化する司法を許さない！

## 蒲郡駅事件控訴審が結審



蒲郡駅事件の第1回控訴審が9月7日、名古屋高裁でおこなわれ、弁護士から「控訴趣意書」の要旨を陳述し、結審した。この「事件」は、JR東海で管理者用のマニュアルといった内部文書を窃取したとでっち上げられ、組合事務所への家宅捜索などの強圧がおこなわれたもの。JR総連・加藤共闘部長（蒲郡駅勤務・当時）がこの犯人として起訴、解雇され、執行猶予付きの有罪判決が出された。

しかし、指紋や目撃者など、事件の物的証拠は何一つない。第一審判決では、社員を監視する防犯カメラの映像から、「管理者用の書庫から内部文書を持ち出しコピーした」という会社と検察の「シナリオ」に沿って、虚偽のストーリーが事実であるかのようになり「推認」された。これが真実だという言葉は一つもない。故に第一審判決は、鍵がかかっていたことにも、指紋証拠にも全く触れていない。文書の存在を知らず、監視カメラの存在を知りつつ、犯罪を犯すなどありえない。窃盗など全くないのが事実なのだ。控訴審では、加藤氏が窃取していないと考えることが合理的であるとして、一審判決を破棄するよう、裁判長に訴えた。

公判後におこなった決起集会で、JR東海労組委員長は、「弾圧はJR総連・JR東海労の破壊に尽きる」と事件の狙いを明らかにし、「JR東海の監査役は、公安調査庁長官をはじめ高裁の長官や警察本部長、鉄道局長などを歴任しているまさに葛西会長好みだ」と指摘。「権力を持っていない我々が、権力に屈しない。新たな怒りでJR総連運動を拡げる秋の闘いを闘おう」と訴えた。

まもなく解雇から2年を迎える。高裁判決は10月5日に言い渡される。

## がん患者の命の重さを問う

### 09薬害根絶デー集會に支援参加

サリドマイド・スモン・薬害エイズ・薬害肝炎などあらゆる薬害の根絶と被害者救済を求めた「09薬害根絶デー集會」が8月24日、東京・霞ヶ関の弁護士会館で開催され、JR総連も支援参加した。

運動開始から10年にあたる行動としておこなわれた集會では、シフトリア予防接種禍やタミフルなどによる薬害の歴史と根絶の歩みが紹介され、薬害原告団から、「イレッサ」と「肝炎」被害の訴えと、取り組みの報告を受けた。また、薬害対策弁護団連絡会の鈴木弁護士は、「連絡会結成4年で70名を超える弁護士を結集した。薬害の教訓を次の世代に生かす連絡会だ。第三者監視機関をつくり、薬害防止のチェック機能を備わせていこう」と目標を掲げた。阿部弁護士は、「連帯する取り組みを拡げること、②肝炎署名を再度取り組むこと、③薬害イレッサ裁判闘争を乗り越える次の行動への提起がされた。」

薬害イレッサ訴訟は、肺がん治療薬「イレッサ」で命を奪われた被害者が国の認証の問題を問う訴訟。JR総連は、「薬害イレッサ被害者の早期救済等を求める要請書」署名に協力し、現在取り組んでいる。



### 最高裁判所裁判官国民審査

法廷	氏名	出身	罷免要求数	率	備考
第三小法廷	那須弘平	弁護士	4,988,562	7.45%	第三小法廷：JR浦和電車区事件が係属。他に藤田宙晴（元大学教授）堀籠幸男（裁判所判事・最高裁判務局長など経験）が審理にあたる
	田原謙夫	弁護士	4,364,116	6.52%	
	近藤崇晴	裁判官	4,103,537	6.13%	
第一小法廷	滝井紀夫	裁判官	5,176,090	7.73%	
	宮川光治	弁護士	4,014,158	6.00%	
	櫻井龍子	行政官	4,656,462	6.96%	
	金榮誠志	裁判官	4,311,693	6.44%	
第二小法廷	竹崎博允	裁判官	4,184,902	6.25%	長官
	竹内行夫	行政官	4,495,571	6.72%	

第45回衆議院議員選挙		今回（速報概算値）		前回は	
衆議院議員選挙	有権者	1億394万9,442人		1億298万5,213人	
	投票率（選挙区）	59.28%		67.51%	1.77%増
	投票率（比例区）	69.27%			1.81%増
	期日前投票	1,396万人		56%増	
最高裁判官国民審査	投票数	6,945万4,375人		1.33%増（200万7,404人増）	